

東京スター銀行

「NDO 取引:アジア通貨建て為替デリバティブ」の取扱開始

～国内企業のアジア通貨為替変動リスク回避ニーズへ積極対応～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO ロバート・エム・ベラーディ)は、このたび、高い経済成長を維持し発展するアジア地域との海外ビジネスを展開しているお客さまの為替変動リスクを回避する手段として、「NDO 取引(Non-Deliverable Option): アジア通貨建て為替デリバティブ」の取り扱いを開始しました。

NDO 取引とは、流動性が低く、当該通貨の国外での流通が規制されている場合等に、決済期日において当該通貨の受け渡しは行わず、予め約定した行使レートとスポット為替レートの差額を円貨によって差金決済するオプション取引のことで、当該通貨の為替変動リスクを回避する取引です。

当行では、これまで米ドル・ユーロ建て等の主要通貨での為替デリバティブの取り扱いを展開してまいりましたが、今後、アジア地域とのお取引を拡大するお客さまが一段と増加することで、アジア通貨建ての為替リスク回避ニーズが高まると判断し、「人民元」、「大韓民国ウォン」、「ニュー台湾ドル」の3通貨の取り扱いに至りました。

アジア通貨建ての為替変動リスク回避のための商品としては、現状、国内の銀行では NDF (Non-Deliverable Forward: 当該通貨の受け渡しは行わず、差金決済する為替先渡取引)取引が一般的ですが、NDO 取引は、「将来の特定の期日に予め約定したレート(行使レート)で当該通貨を売買する権利を購入する取引(オプション購入取引)」のほか、「決済レートに上下限を設定する取引(レンジフォワード取引)」、「契約期間中、予め約定した行使レートで決済する取引(シンセティックフォワード取引)」等オプション取引の組合せにより様々な商品組成が可能となるため、NDF 取引よりもお客さまのニーズに対してきめ細かく対応することができると判断し、当行では NDO 取引を取り扱うことと致しました。

東京スター銀行は、経験豊富なスタッフにより、今後も専門性の高いデリバティブ業務を通じ、中堅・中小企業のお客さまの為替変動リスク回避をサポートして参ります。

《商品概要》

【取扱通貨】

人民元、大韓民国ウォン、ニュー台湾ドル

【商品例】

- ・ オプション購入取引
(当初プレミアムを支払う代わりに、予め約定した条件でアジア通貨を売買する権利を購入する取引)
- ・ レンジフォワード取引
(決済レートに上下限を設定する取引)
- ・ シンセティックフォワード取引
(契約期間中、予め約定した決済レートでアジア通貨を売買する取引)

【決済方法】

NDO(Non-Deliverable Option: 差金決済)

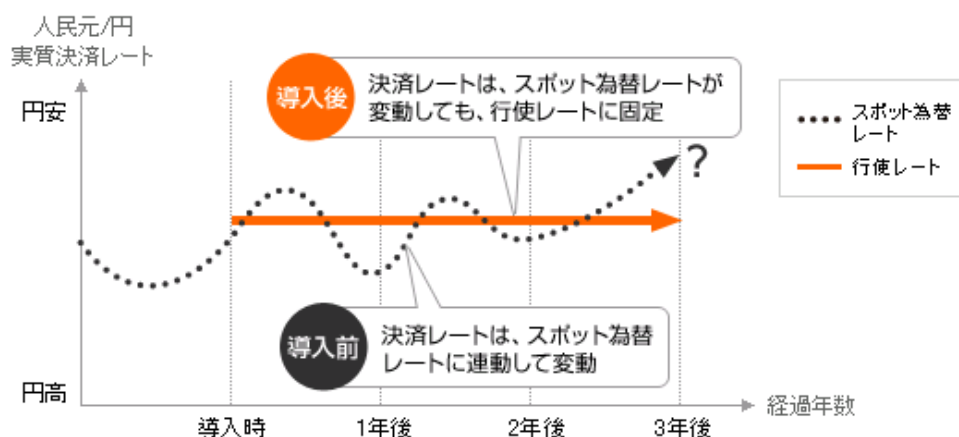
決済期日には、予め約定した為替レートとスポット為替レートとの差金のみのお支払いを行い、現物通貨のお支払いはありません。

【対象となるお客さま】

アジア通貨の為替変動リスクを有する法人のお客さま

《活用例》

「人民元/円 シンセティックフォワード (期間3年)」を活用した場合



メリット

人民元/円の決済レートを3年間固定化!!
約定時に定めた決済レートで決済円貨額を確定することができます。

デメリット

約定時に決済レートを確定させるため、約定後のスポット為替レートやその他市場動向により、結果として不利なレートで決済され、円貨ベースで損失が生じる恐れがあります。

なお、本取引の注意事項等については、下記ホームページをご参照ください。

<http://www.tokyostarbank.co.jp/hojin/competition/non-deliverable-option.html>